

発達障がいのある子どもと保護者は パブリックトイレに困っている

パブリックトイレの“バリアフリー”というと、これまで車椅子使用者をはじめとした身体障がい者への配慮が中心でした。しかし、発達障がいのある子どもと保護者にアンケートをとってみると、その多くがパブリックトイレの利用に困っていることがわかりました。

出典:「発達障害のある子どもの公共トイレに関する研究」(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、日本工業大学、横浜国立大学/2018年) ※第12回キッズデザイン賞 奨励賞 受賞
監修:西村顕(横浜市総合リハビリテーションセンター 研究開発課)

発達障がいとは

『「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。』(発達障害者支援法第二条第一項より)
上記の定義では、「知的障がい」は発達障がいに含まれていませんが、発達障がいのある人の中には知的障がいを伴う人も少なくないため、本レポートでは知的障がいも発達障がいの中を含みます。

<知的障がい・発達障がいの特性>

突然、
大きな音が
鳴るのは
とても苦手

(感覚過敏など)

目に入った
ものをすぐに
触ってしまう
ことがある

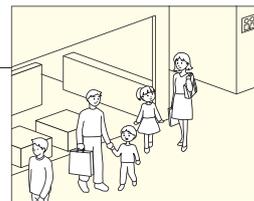
(不注意・衝動性など)

知的障がい
がある人は、
介助が必要に
なる場合がある

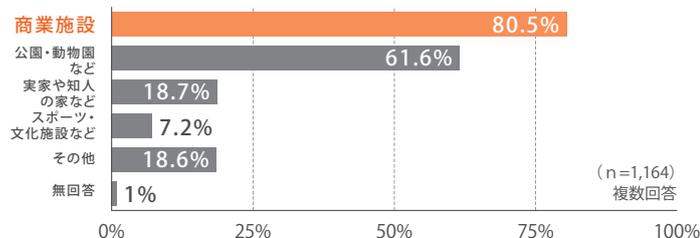
(人的介助)

母と息子が一緒に外出したとき、トイレ探しは…

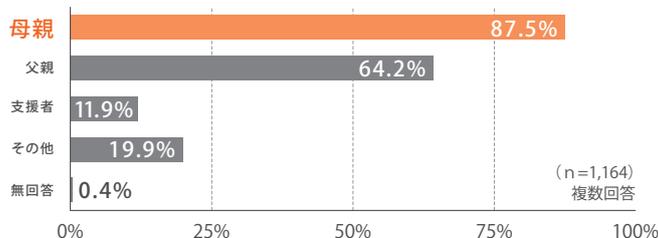
発達障がいのある子どもの休日の外出先を聞いたところ、約8割が「商業施設」と回答。同伴者は「母親」が約9割と圧倒的に多いことがわかりました。子どもが男の子で性別が異なり、おむつ交換などの介助が必要な場合は、外出先で使えるトイレを探すのが大変なことが推測できます。



Q. 休日はどこに出かけることが多いですか？



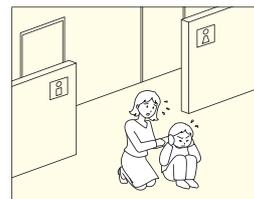
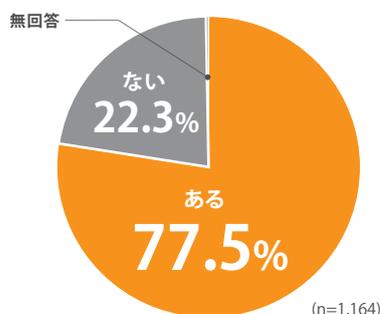
Q. 休日は誰と外出することが多いですか？



約8割の保護者がトイレで困っている

Q. パブリックトイレで困ったことはありますか？

実際に、発達障がいのある子どもを持つ保護者の約8割が「パブリックトイレで困ったことがある」と回答しています。子ども本人が困るケースだけでなく、一緒にいる保護者が困るケースも多いようです。



POINT!

誰もがいきいきと参加できる共生社会の実現のためには
発達障がいのある子どもとその保護者への配慮も重要なテーマです

発達障がいのある子どもの多くが トイレの“ニオイ”や“音”が苦手

発達障がいの特性の一つとして、さまざまな感覚がとても敏感で生活に不便を感じる「感覚過敏」があります。ニオイや音、光などに過敏に反応して、肉体的にも精神的にも疲れてしまいやすく、また、恐怖心からパブリックトイレに入ることができなくなってしまうケースもあるようです。

出典:「発達障害のある子どもの公共トイレに関する研究」(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団、日本工業大学、横浜国立大学/2018年) ※第12回キッズデザイン賞 奨励賞 受賞
監修:西村顕(横浜市総合リハビリテーションセンター研究開発課)

トイレで一番の困りごとは「汚れやニオイ」

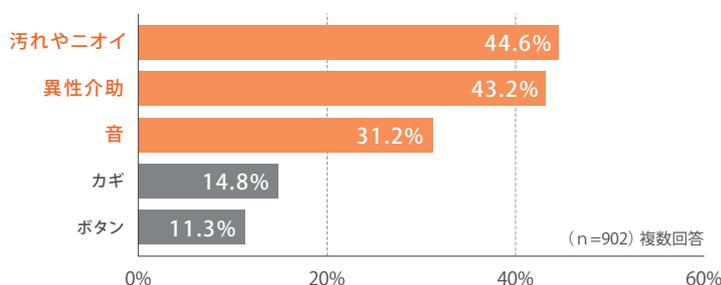
パブリックトイレで「どのようなことで困っているか」を聞いたところ、最も多かったのは「**汚れやニオイ**」に関するものでした。

子どもが便器や床などを触ることやパブリックトイレ特有の芳香剤のニオイを嫌がるなどの回答が多くみられました。また、「**異性介助**」に関する意見も多く、異性の子どもと保護者の組み合わせがトイレ選びに困っていることがうかがえます。

少しのニオイでも敏感。
(11歳男の子の保護者)

臭いトイレには嫌がって、入れない。
(4歳女の子の保護者)

Q. パブリックトイレで
どのようなことに困っていますか?



突然、大きな音が鳴ることは苦手

子どもが苦手な感覚について聞いたところ、最も多かったのは「**音**」に関する感覚。

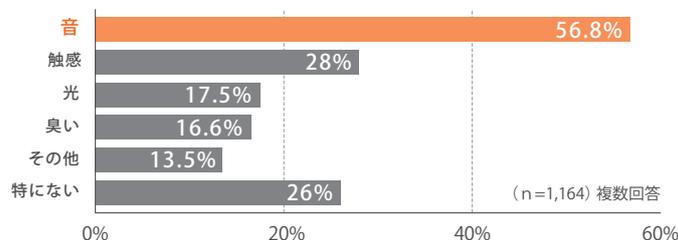
「ハンドドライヤーなどの大きな音が突然鳴ることが苦手」「赤ちゃんの鳴き声が嫌い」など、音に関する意見が多くありました。ハンドドライヤーやトイレ用音響装置は多くの人にとって便利なものですが、大きな音が苦手な人のことを考えると、予想できない大きな音を避けることができない/できる空間で分けるという発想があってもよいのかもしれませんが。

モーターの音などが苦手。
(5歳男の子の保護者)

急に音が聞こえると、「何?」と驚く。
(4歳女の子の保護者)



Q. 発達障がいのある子どもの苦手な感覚は?



ハンドドライヤーや
トイレ用音響装置
etcの音

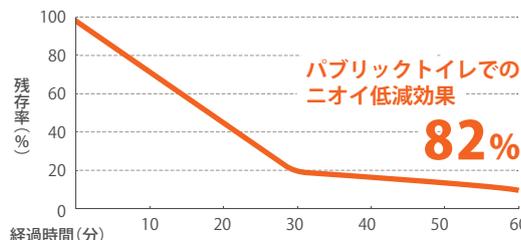
大きな音を
予想できない
→ 選べる
(一般トイレ)

大きな音を
予想できる
(多機能トイレなどの
独立したトイレ)

SOLUTION

ニオイ吸着効果のある 機能建材をトイレの壁面へ

<機能建材 エコカラットプラス>
肉眼では見えない微細な孔が無数にあり、
その孔がニオイの原因成分を吸着。



○ 試験方法: 実駅パブリックトイレより捕集したトイレ臭を用いて効果検証。試験体(80mm角)をにおい袋(3ℓ)に入れ、ヒートシールを施した後、捕集した実トイレ臭気を封入し、室温下で1時間放置し臭気レベルをニオイセンサー(新コスモス電機㈱ XP-329ⅢR)にて測定。予め求めたニオイセンサーと臭気濃度との変換値より嗅覚相当の残存率(%)に換算。
※ 試験結果はエコカラットによるものです。エコカラットは2019年にエコカラットプラスへと統合されておりますが、エコカラットとエコカラットプラスでニオイの吸着性能が変わらないことを確認しております。

POINT!

発達障がいのある子どもが利用しやすいトイレづくりのためには
「ニオイ対策」や「音対策」などの工夫が求められます